

主な災害（土尻川砂防事務所管内）

災害発生年月日	管内	県内
1691元禄 4. 6.13	(信州新町)中林大抜け	
1731享保 16.5.10	(信州新町)赤柴中屋大抜け	
1731享保 16.5.13	(小川村)小根山村塩沢大抜け	
1731享保 16.8.23	(小川村)瀬戸川村馬曲組大崩、吉原大抜け川を堰止め	
1742寛保 2.8. 1	(小川村)法蔵寺(輪ノ内の南に位置)の裏山大抜け	
1749寛延 2. 8	(信州新町)猿坂新田大抜け	
1754宝暦 4. 8	(信州新町)大雨により時又大抜け	
1755宝暦5.12~6.1	(信州新町)大雪により方々抜け	
1757宝暦7.4.21~5.6	(信州新町)方々屋敷、山畑とも大抜け	
1768明和 5. 5	(小川村)久木菅沼の大抜け	
1768明和 5.5.21	(小川村)成就村、上野村に亘る大地すべりにより小根山川 瀬戸川を堰止め湛水上流一里に及ぶ(死者13人 家屋 倒壊60軒 上野村、鶴牧田村、萩之久保村、成就村)	
1787天明 7.5.17	(小川村)法蔵寺の境内大抜けで諸堂残らず埋没(寛保2年 の抜け口)よって法蔵寺は現在の場所へ移築	
1804文化 元. 5	(小川村)夏和村志神大抜け 土尻川を堰止め湛水1か月に	
1808文化 5.12	(小川村)馬曲村大抜け 抜口二百間	
1809文化 6.2.23	(小川村)和佐尾村味大豆沖大抜け	
1819文政 2.5.18	(小川村)瀬戸川村南中山大地すべり 南部落5戸押潰れる 南から中山にかけて断層250間	
1825文政8.5~8.9	(信州新町)大雨郷中方々抜け	
1847弘化 4. 3.24	善光寺地震 午後10時 M 7.4(虫倉山付近が震源) 死者 約12,000人 山崩れ 約42,000か所 (信更) 岩倉山の抜け 約1,500m下方の犀川を堰止め(21日間) (信州新町)祖室の抜け L300m W80mの山崩れ 当信川堰止め 柳久保の抜け 18戸載せL500m W150mの地すべり 栢久保 南北450m東西650mの地区滑落10戸被災 (七二会)倉並の抜け 22戸埋没 11戸半壊 死者60人 坪根 埋没2戸 倒壊30戸 半壊16戸 (中条村)五十里 東西230m南北470mの大崩壊 土尻川堰止め 念仏寺 山腹が崩壊 全壊24戸 半壊18戸 死者6人 藤沢 虫倉山中腹が崩落 18戸が埋没 太田 虫倉山山腹が崩落 11戸倒壊 死者54人 村内で300人近い死者	善光寺地震

		(小田切)山田中 L1700m W500m の大地すべり 耕地1/3失う	
		(小川村)家潰れ、押潰れ133軒 死者61人	
1859	安政 6. 5.22	(信州新町)大雨山抜け	
1884	明治17	(篠ノ井)茶臼山の南峰の頂上付近に亀裂が発見される	
1886	19	(小川村)薬師沢支川稲丘東地区で直轄砂防工事開始	
1896	29. 7.21	(美麻) 大洪水	
1898	31	(篠ノ井)茶臼山地すべり発生(900万m ³)	
1904	37. 7.28	(美麻) 大洪水	
1905	38. 9.16	(美麻) 大洪水	
1908	41. 2.29	(七二会)倉並で地すべり 全壊2戸 半壊5戸 破損25戸	
1911	44.8.9		小谷村稗田山の崩壊
1929	昭和4.4.21	(七二会)暴風雨災害 全半壊住宅その他で325件	
1929	4. 5.18	(美麻) 土尻川氾濫 青具万中地籍	
1930	5.春	(七二会)笹平 除沢祖手山で地すべり	
1931	6. 7.15	(美麻) 暴風雨のため青具矢久長久保沢で地すべり	
1931	6. 7.25	(七二会)中田平ほかで降雨により地すべり	
1931	6. 8.22	(信州新町)大雷雨大原荒れる	
1932	7. 7	(美麻) 集中豪雨のため長久保沢上流が崩壊し土石流 1戸全壊 田畑50アール流失	
1932	7. 8.26	(信州新町)太田川大荒 犀川洪水	
1933	8. 8.13	(小川村)全域で集中豪雨 被害甚大(雨量2百数十mm)	
1939	14.4.21		白馬村親沢の崩壊
1942	17. 3	(美麻) 奈良尾で地すべり	
1942	17. 9.10	(信州新町)当信川大荒 倒壊3戸5棟 床上浸水13戸	
1945	20.10. 9	(七二会)倉並で土砂崩落、決壊 50mの断崖	
1946	21. 7	(篠ノ井)茶臼山で地すべり	
1946	21. 8.21	(七二会)倉並で地すべり 住宅12戸 水田2ha 畑53ha	
1949	24.8.30		昭和24年キテイ台風災害(東信)
1950	25	(七二会)地すべり 中越、倉並、矢沢、谷原、狸尾、市場、 地蔵堂、遠見 耕地123ha 山林原野34ha 家屋21戸	
1950	25. 3	(小田切)西の久保で地すべり 山林30ha	
1952	27.7.25	(七二会)狸尾で地すべり	
1953	28	(中条村)月夜棚で地すべり 月夜棚4戸 田越1戸 移転	
1953	28. 8	(小田切)麻庭南で地すべり 山林20ha	
1955	30. 3	(小田切)仏久伝南で地すべり 山林20ha	

1956	31. 3	(美麻) 融雪と豪雨により 大塩、日影、千見、曲尾、高地 青具、一字田、塩ノ川等10か所で地すべり	
1957	32. 3	(美麻) 融雪と豪雨により 土尻川が氾濫 一字田で床上浸水等2戸 水田5haに土砂流入	
1957	32. 7.22	(信州新町)太田川奥豪雨 130mm 浸水47戸 死者1人	
1957	32. 8.11	(信州新町)信級豪雨 損害1千万円	
1959	34.7. 6		昭和34年台風7号災害(佐久)
1960	35. 7	(小川村)瀬戸川上流集中豪雨 死者1人	
1960	35. 8	(美麻) 台風により北原沢上流の山林25a崩壊 土石流 1戸全壊 2戸一時避難	
1961	36.6.23 ～27	(中条村)連続降雨により田ノ入で地すべり3ha 3戸土砂流入	上伊那南部から下伊那北部 の梅雨前線豪雨災害
1963	38. 4	(美麻) 融雪により万中で7haの地すべり土尻川を堰止め 県道寸断、1戸避難	
1964	39. 9	(小田切)小鍋ささ沢沖で地すべり 山林20ha	
1965	40.8.3～		松代地震と地すべり
1966	41.6.24		南木曾災害
1969	44.7.8～9	(小田切)地すべり	
1969	44. 8	(小川村)8月集中豪雨により滝沢部落被害大	
1969	44. 8	(美麻) 8月集中豪雨により被害 床下浸水1戸	
1969	44. 8.19	(信州新町)信級日原集中豪雨 被害4億8千万円	
1971	46	(美麻) 奈良尾で地すべり	
1972	47. 1. 6	(美麻) 奈良尾で地すべり L300m W150m	
1972	47. 2.17	(信州新町)祖室地すべり W100m L300m 当信川堰止め	
1973	48. 9.12	(小川村)飯縄山裏側で大地すべり	
1974	49. 7.10	(信州新町)集中豪雨 奈良尾地すべり	
1975	50. 3	(信州新町)融雪 奈良尾地すべり	
1976	51.10. 6	(信州新町)奈良尾地すべり W150 L800 16戸避難	
1979	54.10.18		御岳山の噴火
1980	55	(小川村)味大豆の地すべり拡大	
1981	56.3.17	(小川村)下北尾で地すべり	
1981	56.5.13	(小川村)大崩で地すべり	
1981	56.8.23		須坂市宇原川の災害
			松代温泉団地230世帯が床上浸水
1982	57.8. 1		台風10号災害(千曲川上流・県南)
1982	57.8. 7		小諸市富士見平 地すべり
1982	57.9.11		台風18号災害(飯山市・諏訪市・佐久町)

1982	57.9.12	(中条村)台風18号により太田で土石流 2戸土砂流入 追平、専納で地すべり 各1戸土砂流入	
1983	58. 7	(小川村)北尾の地すべり被害拡大	
1983	58. 7.25	(美麻) 梅雨前線豪雨で土尻川増水 矢久長久保沢で崩落	
1983	58. 7.26	(中条村)辻の崩で地すべり 村道130m被災	
1983	58. 7.27	(美麻) 三百地、向山で地すべりの崩壊 L100m W80m 三百地で8戸30人に避難命令	
	8.9~10	(美麻) 各地で土砂崩壊等発生 浸水避難多数	
1983	58.9.27 ~28	(信更) 台風10号により土砂崩れ 1人死亡 (小田切)(七二会) 家屋14棟損壊 (信州新町) 犀川の増水により家屋の被害620棟 栃久保で地すべり 住宅1戸全壊	台風10号による災害
1983	58	(美麻) 三百地で地すべり	
1984	59.7.21	(美麻) 鉄砲水、土砂崩れ続出 千見裏山から土砂1戸全壊 千見、青具地区で9戸床下浸水その他被害多数	
1984	59.9.14		長野県西部地震(王滝村)
1984	59.11.18	(中条村)下々条で地すべり 納屋1戸倒壊	
1985	60. 6	(七二会)梅雨により祖手山で地すべり	
1985	60. 6.30	(中条村)豪雨により地すべり 廻池(納屋1戸半壊) 下奈良井(人家1戸半壊) 下五十里(土尻川 埋塞)	
1985	60. 7.26		長野市地附山地すべり
1986	61. 9. 2		台風15号災害(東信)
1986	61.12.30	県北部を中心に地震M5.9 長野で震度4 (篠ノ井)(七二会)(信更) で被害	
1987	62. 7	(小川村)白地沢で地すべり	
1988	63. 9. 2	(七二会)大雨(雷雨)により土砂崩落多発 (小田切)大雨(雷雨)により土砂崩落多発	
1989	平成元.7.16	(七二会)梅雨前線により土砂崩落、路肩・河川護岸決壊	
1989	元. 7.24	(小田切)大雨(雷雨)により路肩決壊、土砂崩落、護岸決壊 (七二会)大雨(雷雨)により路肩決壊、土砂崩落、護岸決壊	
1989	元. 9. 2		秋雨前線豪雨(南部)
1989	元.10.13	(小川村)青木立地籍で岩石大崩落	
1991	3. 3.19	(中条村)青木平で地すべり 村道 65m被災	
1991	3. 3.27	(小川村)今崩地籍で土砂崩れ 3人死亡	
1994	6. 2.14	(信更町)湧池虚空蔵山(岩倉山)で地すべり L150m W50m 深さ5~10m 移動土量約35,000m ³ 5世帯10人が避難	

1995	7. 7.11 ～12	梅雨前線による豪雨で県北部に大災害 小川村を中心とする付近一帯で土石流や地すべりが発生 全壊12戸、半壊1戸 108世帯257人が避難 (小川村)中牧地区(人家4戸全壊)など村内各所で災害多数発生 (美麻) 片岡沢で土砂崩落 避難勧告 稲尾沢で地すべり (小田切)降水量 211mm 被害総額10億円 (中条村)成山で地すべり 土尻川一部埋没 県道信州新 中条線寸断	
1996	8.12. 6		小谷村蒲原沢で土石流
1998	10. 7. 1	(美麻) 地震 震度5.10 被害多数	
1999	11. 9.28	(篠ノ井)秋雨前線及び台風18号により下石川で地すべり	
2000	12. 3	(中条村)御山里で融雪による地すべり L180m	
2001	13. 3	(中条村)御山里で融雪による地すべり L100m	
2004	16. 9. 1		浅間山中規模噴火
2004	16.10. 9	台風22号で大雨が発生 (信更町)安庭で午後5時過ぎ大規模な地すべり 国道19号が脇を流れる犀川に陥没して上下線とも不通に 国道脇の民家1棟と店舗1棟巻き込まれ全壊	
2004	16.10.20	(信州新町)台風23号 中尾でがけ崩れなど孤立地域あいつぐ (中条村)角井で地すべりにより村道が崩壊 (七二会)倉並の地すべり兆候が顕著に 柏尾沢で土石流 市場で地すべり (美麻) 大塩日向で地すべり 民家軒先が崩壊 (大岡) 明河沢で土石流	
2004	16.10.21	(小川村)穴尾・大崩・古山で地すべり 村道決壊など	
2006	18. 3.25	(七二会)善福寺で地すべり 家屋1戸半壊 土蔵1棟全壊	
2006	18. 7.19	(七二会)定谷で地すべり 市道決壊 農道全壊80m 松山沢へ土砂流出 (中条村)鳥々見で地すべり 村道が被災	平成18年7月豪雨(伊那・諏訪)
2010	22. 7.16	(信更町・篠ノ井) 現象:土石流14箇所、崖崩れ3箇所 被害:家屋2戸全壊、一部損壊1戸、床上浸水2戸、床下浸水2戸、 人的被害なし 自主避難:篠ノ井岡田16人、岡田新田12人、信更町灰原2人	災関砂防 三水1、三水2、今泉、赤田、岡田 災関急傾 高野、灰原 補正急傾 札木

